

# Creative Neighborhoods 2

# 都市のインフォーマリティ

# 変容する社会における住環境の実践

## Urban Informality for Societies in Transformation

21世紀に入り、今、居住のための持続可能な社会、都市をどう構築できるかが大きな課題である。Y-GSAでは、「次世代居住都市」研究の一環として本シンポジウムを開催する。

依然として都市化が進み変容している南米の居住環境に関するリサーチや、世界で生まれつつある新たな地域再生のプロジェクトを取り上げることで、都市におけるインフォーマルな環境やコミュニティ、あるいはコモンズを生み出す空間の重要性を問い直し、都市において本来ありうべき住環境のあり方について議論する。

特別講演1 [15:05-15:20]

「都市のエージェントは誰なのか」

北山 恒

横浜国立大学大学院Y-GSA校長  
architecture WORKSHOP

特別講演2 [15:20-15:35]

“Informal Urbanscapes/Communities in Latin America”

ロドリゴ・ペレス・デ・アルセ

チリ・カトリカ大学教授  
Rodrigo Pérez de Arce Architects

Part 1 [15:40-18:00]

## 「インフォーマルな空間から学ぶ」

[パネリスト]

レオナルド・ストライヒ

スイス連邦工科大学/MAS Urban Designディレクター  
Something Fantastic

ディエゴ・グラス

チリ・カトリカ大学助教  
Plan Común

乾 久美子

東京藝術大学大学院准教授  
乾久美子建築設計事務所

[司会]

北山 恒

Part 2 [18:15-20:30]

## 「コモンズを生む自発的な空間」

[パネリスト]

ライナー・ヘール

スイス連邦工科大学/MAS Urban Design  
シニア・リサーチャー、BAÜ

塚本由晴

東京工業大学准教授  
アトリエ・ワン

小嶋一浩

Y-GSA教授  
CAT

萬代基介

Y-GSA設計助手  
萬代基介建築設計事務所

[司会]

藤原徹平

Y-GSA准教授  
フジワラテッペイアーキテクトラボ

2015年3月24日(火) 15:00-20:30

ヨコハマ創造都市センター(YCC)1階ホール

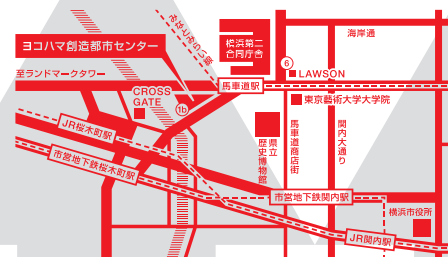
参加費無料 日英同時通訳付 ※当日先着順でのご入場となります(150名)

主催:横浜国立大学先端科学高等研究院 企画:横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院Y-GSA

ヨコハマ創造都市センター(YCC)1階ホール 横浜市中区本町6-50-1

みなとみらい線「馬車道駅」1b出口 野毛・桜木口(アイランドタワー連絡口) JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分 「関内駅」徒歩7分

お問い合わせ=Y-GSAオフィス TEL:045-339-4071 E-mail:ygsa@ynu.ac.jp Web:http://www.ygsa.jp



## 都市のインフォーマリティ—変容する社会における住環境の実践

Part 1 [15:40-18:00]

### 「インフォーマルな空間から学ぶ」

Case Study 1 [15:40-16:00]

#### “A.P.B.—Popular Brazilian Architecture” ブラジル

講師:レオナルド・ストライヒ

Case Study 2 [16:05-16:25]

#### “Little Lima in Santiago: City within a City” サンティアゴ、チリ

講師:ディエゴ・グラス

Case Study 3 [16:30-16:50]

#### 「小さな風景からの学び」

講師:乾 久美子

Discussion [16:55-18:00]

レオナルド・ストライヒ+ディエゴ・グラス+乾 久美子

司会:北山 恒

## 略歴

### 北山 恒 Koh KITAYAMA

建築家、横浜国立大学大学院／建築都市スクールY-GSA校長。architecture WORKSHOP主宰。1950年香川県生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了。1978年ワークショップを共同で設立。1995年横浜国立大学助教授。同年 architecture WORKSHOP設立。2001年横浜国立大学教授。2007年より同大学院Y-GSA教授。現在、横浜市都心臨海部・インナーハーバー整備構想や、横浜駅周辺地区大改造計画に参画。2010年第12回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展コミッション。主な作品:「公立刈田綜合病院」(2002年、共同設計、日本建築学会作品選奨・日本建築家協会賞)、「洗足の連結住棟」(2006年、日本建築家協会賞・日本建築学会賞)、「祐天寺の連結住棟」(2010年、日本建築学会 作品選奨)ほか。

### ロドリゴ・ペレス・デ・アルセ Rodrigo PÉREZ DE ARCE

建築家、ランドスケープ・アーキテクト。Pontificia Universidad Católica de Chile School of Architecture (PUC)教授。1948年生まれ。PUC、AAスクールで学んだ後、Universidad Central de VenezuelaでPh.D.取得。1978年から1990年までAAスクールでユニット・マスター、ペンシルバニア大学、コーネル大学、ハーヴァード大学などで客員教授を歴任。主な作品:Estacion Mapocho Cultural Center, Santiago (1st Place, 1991), Redevelopment of Barrio Cívico de Santiago (1st Place, 1996), the Refounding of Plaza de Armas, Santiago (1st Place, 1997, built) and the New Crypt of Santiago Cathedral (1st Place, 2001)。

### レオナルド・ストライヒ Leonard STREICH

クリエイティブディレクター、建築家、アーバニスト。建築事務所“Something Fantastic”、広告会社Belgradを共同主宰。1981年生まれ。ETH ZurichのMarc Angeliliが率いるMAS Urban Designのディレクターを務める。ETH Zurich MAS Urban designでのブラジルの3つのプロジェクトに関する書籍は、DAM Architecture Book Awardsによる“best urban theory publication”を受賞。実務においては2014の“Iakov Chernikov Prize”を受賞し、MoMAやロッテルダムで開催されたビエンナーレ国際建築展の展示に参加。主な著書:“Something Fantastic—A Manifesto by Three Young Architects on Worlds, People, Cities, And Houses”, “The Index of Re-Inventing Construction”。

### ディエゴ・グラス Diego GRASS

建築家、映像制作者。1983年生まれ。Pontificia Universidad Católica de Chile School of Architecture (PUC)で研究／教育活動にも携わっている。同大学で建築学学士取得後、アソシエイト・アーキテクトとして2009年から2011年までIzquierdo Lehmannのもとで働く。Felipe de Ferrariと共に2006年から制作した映像をデータベース化し配信するOnArchitectureを2011年に開始。2012年にPlan Comúnを設立。パブリック・スペースに関連する建築コンペに参加し、今までにもいくつかの賞を受賞。100以上の公共空間のプロトタイプをまとめた書籍“Plan Común: Público-Privado”を様々な国の実践者と共に制作している。

### 乾 久美子 Kumiko INUI

建築家、東京藝術大学大学院准教授。1969年大阪府生まれ。1992年東京藝術大学美術学部建築科卒業。1996年イェール大学大学院建築学部修了。1996～2000年青木淳建築計画事務所勤務を経て、2000年乾久美子建築設計事務所を設立。2000～2001年東京藝術大学美術学部建築科常勤助手。2011年より東京藝術大学美術学部建築科准教授に就任。主な作品:「アパートメント1」(2007年竣工/2008年新建築賞)、「フラワーショップH」(2009年竣工/2010年日本建築士会連合会賞優秀賞、2010年グッドデザイン金賞、2011年JIA新人賞、2012年BCS賞)、「陸前高田のみんなの家」(伊東豊雄らと協働、2012年竣工/2012年第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞)。

Part 2 [18:15-20:30]

### 「commonsを生む自発的な空間」

Case Study 4 [18:15-18:35]

#### “Minha Casa, Minha Vida” ブラジル

講師:ライナー・ヘール

Case Study 5 [18:40-19:00]

#### “Kaka’ako Agora” ハワイ “Osthang Project” ダルムシュタット、ドイツ “Canal Swimmer’s Club” ブルージュ、ベルギー

講師:塚本由晴

Case Study 6 [19:05-19:25]

#### 牡鹿半島・鮎川浜での実践と「鮎川浜の番屋」、 「石巻市復興まちづくり情報交流館 牡鹿館」

講師:小嶋一浩+萬代基介

Discussion [19:25-20:30]

ライナー・ヘール+塚本由晴+小嶋一浩+萬代基介

司会:藤原徹平

### ライナー・ヘール Rainer HEHL

建築家、アーバンプランナー。ETH ZurichでPh.D.取得。建築・都市計画事務所“BAU”主宰。1973年生まれ。ETH ZürichのMAS Urban Designのシニア・リサーチャー。2010年～13年まで、MAS Urban Designにおいてブラジルの都市開発に関するデザイン・プロジェクトやリサーチのディレクター。2013年からベルリン工科大学客員教授。Diller, Scofidio+Renfro’s studio(2003-05年)、OMA(ニューヨーク事務所、2005-06年)勤務。2009年の第四回ロッテルダム・国際建築ビエンナーレで“SQUAT”展。2011年にMoMAで開催された“Small Scale-Big Change, The Architecture of Social Engagement”展に参加。主な著書:Building Brazil! (Ruby Press, 2011)、the urban theory publications Informalize! and Collectivize! On the Political Economy of Urban Form (Ruby Press, 2012/2013)。

### 塚本由晴 Yoshiharu TSUKAMOTO

建築家、東京工業大学准教授。博士(工学)。アトリエ・ワン共同主宰(貝島桃代、1992年)。1965年神奈川県生まれ。1994年東京工業大学大学院博士課程修了。Harvard GSD客員教員。UCLA客員准教授、Royal Danish Academy of Arts客員教授などを歴任。主な作品:「ハウス&アトリエ・ワン」(2006年)。「みやしたこうえん」(2011年)。「BMW Guggenheim Lab」(2011年)。「Logement Collectif Rue Ribiere」(2012年)。「北本駅西口駅前広場」(2013年)。「東工大環境エネルギーイノベーション棟」(2012年)など。主な著作:「メイド・イン・トーキョー」(鹿島出版会 2001年)。「図解アトリエ・ワン」(TOTO出版、2007年)。「Windowscape 窓のふるまい学」(フィルムアート社、2011年)。「Behaviorology」(Rizzoli、2010年)。「空間の響き／響きの空間」(INAX、2009年)。「Atelier Bow-Wow: A Primer」(Walther Konig、2013年)。「コモナリティーズ ふるいまの生産」(LIXIL出版、2014年)など。

### 小嶋一浩 Kazuhiro KOJIMA

建築家、横浜国立大学大学院／建築都市スクールY-GSA教授。CA共同主宰。1958年大阪府生まれ。1984年東京大学大学院修士課程修了。同大学院博士課程在学中の1986年にシーラカンス(のちC+A、2005年よりCA)を共同設立。1994年東京理科大学助教授。2005～11年3月同大学教授。2011年横浜国立大学大学院Y-GSA教授。主な作品:「千葉市立打瀬小学校」(1995年、日本建築学会賞)。「スペースブロック新庄」(1998年、ARCASIA建築賞ゴールドメダル)。「スペースブロックハノイモデル」(2003年)。「リベラル・アーツ&サイエンスカレッジ」(2004年)。「ホーチミンシティ建築大学」(2006年、Global Holcim Awards Silver 2009)ほか作品多数。

### 萬代基介 Motosuke MANDAI

1980年神奈川県生まれ。2003年東京大学工学部建築学科卒業。2005年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。2005-11年石上純也建築設計事務所勤務。2012年萬代基介建築設計事務所設立。2012年-横浜国立大学大学院／建築都市スクールY-GSA設計助手。2014年DSA空間デザイン大賞受賞/JCDデザインアワード金賞受賞。2014年-東京電機大学非常勤講師。

### 藤原徹平 Teppei FUJIWARA

建築家、横浜国立大学大学院／建築都市スクールY-GSA准教授。フジワラテッペイアーキテクツラボ代表。1975年横浜生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了。2001年より隈研吾建築都市設計事務所、「朝日放送」/「ティファニー銀座」|北京・三里屯 SOHO|「浅草文化観光センター」|「フザンソン芸術文化センター」|「マルセイユ現代美術センター」|「V&A at Dundee」など世界20都市以上のプロジェクトを担当。2009年よりフジワラテッペイアーキテクツラボ代表。2010年よりNPO法人ドリフターズ インターナショナル理事を務め、ファッション・建築・ダンス・パフォーマンスなど異文化の融合が生み出す新しいプロジェクトを様々な都市で実践する。2012年より横浜国立大学大学院Y-GSA准教授。